

健康経営の取組みと 財務状況への影響度調査について



全国健康保険協会 静岡支部
協会けんぽ

◆調査概要等

■概要

事業所が健康経営を実践することによって、実際の経営状況や財務状況にどのような影響を与えているかという視点から、主に中小規模の健康宣言事業所および未健康宣言事業所向けに調査を行い比較することで、健康経営の成果を検証・発信することを目的とした調査である。

調査対象

「健康宣言事業所」および「未健康宣言事業所」のうち、委託事業者（株式会社東京商工リサーチ）のデータベースに売上高が掲載されている事業所

→それぞれ1,000社ずつ
(計2,000社)

調査方法

- ・郵送調査

→返送期限の2週間ほど前に、
未提出の事業所に対して
督促コールを実施（1,000社）

■調査期間

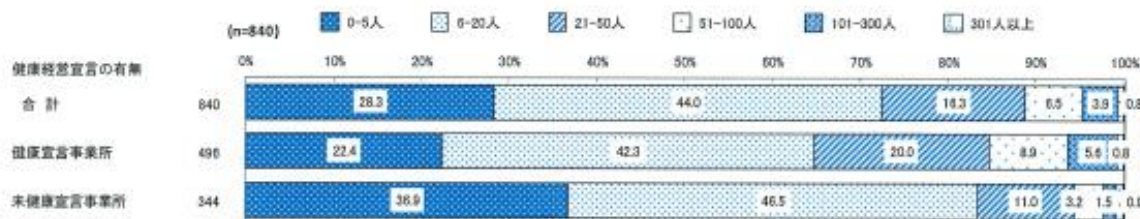
2021年10月20日（水）～2021年11月12日（金）

◆調査結果①

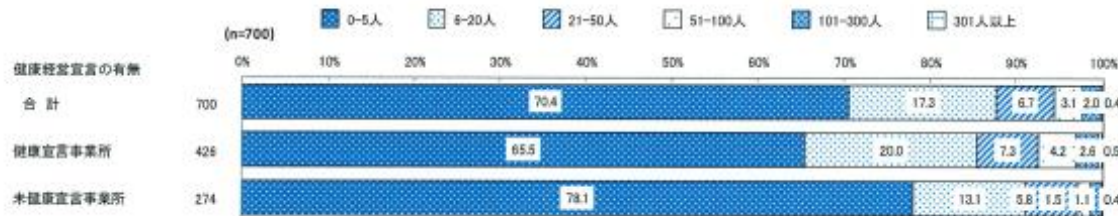
- 健康宣言事業所と未健康宣言事業所では従業員数規模に顕著な差がみられ、未健康宣言事業所は約3社に1社は正社員が0～5人、また約4社に3社は非正社員が0～5人であった。

問：貴社の従業員数（2021年10月時点）についてお答えください。

【正社員】



【非正社員】



- 委託事業者のもつ売上高データと突合したところ、「売上高が3億円以上」である事業所は全体のうち健康宣言事業所が47.7%、未健康宣言事業所が32.5%と10ポイント以上の差がみられたが、前述した従業員数規模の差に留意する必要がある。

【健康宣言の有無別、当期売上高（出典：TSR 企業データベース）】

		調査数	1000万円以下	1000万円超～5000万円以下	5000万円超～1億円以下	1億円超～3億円以下	3億円超
健康宣言の有無	合計	845	1	88	129	277	350
		100.0	0.1	10.4	15.3	32.8	41.4
	宣言企業	497	1	47	56	156	237
		100.0	0.2	9.5	▽ 11.3	31.4	▲ 47.7
未宣言企業		348	0	41	73	121	113
		100.0	0.0	11.8	▲ 21.0	34.8	▼ 32.5

◆調査結果②

■人材の採用と定着面では、健康宣言事業所は教育や健康管理、育児・介護、社内相談体制などの取組に積極的な傾向があり、未健康宣言事業所と比べ10ポイント以上の差があった。

一方、給与や昇給・昇進制度についての取組では、健康宣言の有無別で差が見られなかった。

問：人材の採用と定着のために取組んでいることはなんですか。

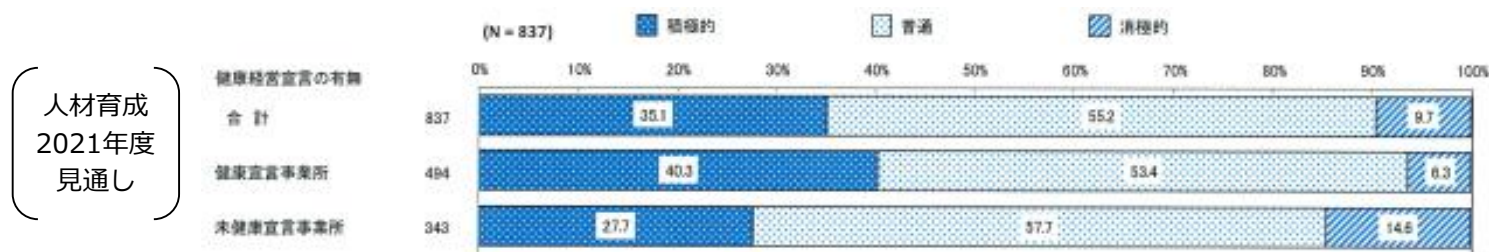


「その他」の内容	
社員の厚生面（2件）。	
社内のファシリティの整備。	
経営の安定化、安心して働けるように。	
仕事内容の作業効率、従業員のモチベーションを上げる。	
社長、専務に意見、希望を言えるようにしてる。	

◆調査結果③・まとめ

- 2021年度の人材育成の積極性について、「積極的」と回答した割合は宣言事業所のほうが12.6ポイント上回った。

問：貴社における人材採用と人材育成の意向について、前年同期と比較してそれぞれ当てはまるものをお選びください。



- その他、「“健康経営”という言葉の認知度」「経営計画やBCPの策定状況」「経営課題の認識や課題への取組状況における人材面についての認識および取組状況」は、宣言事業所のほうがポイントが有意に高い傾向があった。

<まとめ>

健康経営に関して、大規模事業所を対象とした調査や健診・レセプトデータ等の協会保有のデータと突合した分析は過去に実施されてきたが、中小規模の事業所を対象とした健康経営がもたらす経営への影響に関する調査は行われてこなかったところである。

調査結果分析から、宣言事業所・未宣言事業所の人材育成・採用への積極性や、経営課題への考え方、BCPの策定状況等、様々な面からの違いを把握することができた。

今回得られた経営者目線での経営状況等に関するデータは、今後のコラボヘルスの推進にあたっても活用できるものと思われる。